

【1 分解説】グリーンバイオとは？

総合調査部 政策調査グループ長 水澤 太一

グリーンバイオとは、主に農業分野で利用されるバイオテクノロジーを指します。例えば、遺伝子組換え技術を用いた農作物の品種改良や、代替肉・培養肉といった代替タンパク質の生産・開発等に活用されています。

元々、バイオテクノロジーとは「バイオロジー(生物学)」と「テクノロジー(技術)」を組み合わせて作られた造語で、これまでも酒・味噌などの発酵食品や、作物や家畜の品種改良でも利用されてきました。近年では、遺伝子組み換え技術や細胞融合技術などの発展により、医療、健康、食品、農業、環境、エネルギーなどさまざまな分野で幅広く活用されています。従来のバイオテクノロジーとの対比でニューバイオテクノロジーとも言われています。

こうした知識・技術のうち、主に農業分野で活用されるものを「グリーンバイオ」と呼びます。農作物の収穫量増加や栄養価を高めたりする品種改良、代替タンパク質の効率的な生産・開発といった技術は、世界的な人口増加や気候変動の影響による食糧生産・供給の不安定化に対する解決策としても、その利活用が一層進むことが期待されます。